

事業シート (概要説明書)

事務事業名		交通安全広報活動推進事業	事業開始年度	平成元年度	
根拠法令		無	担当部名	市民生活部	
事務区分		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	担当課・係名	市民安全課交通係	
市長マニフェスト		<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない	作成責任者	中村英人	
事業概要	実施の背景	20年9月定例会の議会答弁において、「交通安全大会、キャンペーンなどで、自転車の正しい乗り方、マナー向上の指導等に取り組みます。」と答弁しました。			
	目的 (何をどうしたいか)	交通安全への意識を持ち、交通事故防止について気をつけるようになります。			
	対象 (誰・何を対象に)	市民、特に近年の交通事故の実態を考慮し、高齢者、幼・小学生	対象者数 (全市民に対する割合) 182,913 人 (100 %)		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施			
		<input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者:)			
<input type="checkbox"/> 補助金〔直接・間接〕 (補助先: 実施主体:)					
<input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先:) <input type="checkbox"/> その他 ()					
事業内容 (手段、手法など市民にわかりやすく説明する)	<p>目的を達成するため、以下の事業を実施しています。 (金額については、24年度実績)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 新入学児童等の安全のため、交通安全用品の配布 1,944,904円 (新入園児→黄色帽子、小学1年→黄色帽子、中学1年→夜光腕章 等) 2 小中学生の意識向上のため、交通安全ポスター展を実施 56,748円 (知事賞、市長賞、議長賞、教育長賞各賞品、書状書き) 3 町内会、学校へ交通安全消耗品の配布 2,327,662円 (横断幕、町内会用立看板、路面貼り付け用ストップマーク、高齢者・高校生用啓発リーフレット等) 4 交通公園3箇所、電光表示機 (LED文字情報板) 5箇所の維持管理 1,184,660円 (電気料、電話料、修繕料) 5 セスナ機による市内全域の啓発 180,000円 (年4回の市民運動+緊急時1回) 6 環境と交通安全のため、運転免許自主返納支援事業の実施 4,455,500円 (住民基本台帳カード交付、あんくるバス乗車券) 7 交通安全協会安城支部へ負担金 2,362,000円 				
関連事業 (同一目的事業等)	交通安全教育推進事業 交通安全施設整備事業				

事業シート (概要説明書)

事務事業名		交通安全広報活動推進事業				事業開始年度		平成元年度	
		25年度 (予算)		24年度 (決算見込み)		23年度 (決算)		22年度 (決算)	
コスト	事業費合計	15,803 千円		15,019 千円		13,947 千円		13,904 千円	
	事業費内訳 (平成24年度分)	報償費 (新入学児童黄色帽子等) 1,087,684円 賞賜金 (ポスター展入賞者賞品記念品) 56,100円 消耗品費 (交通安全横断幕、通学団用笛、町内会配布用立看板等) 2,732,962円 印刷製本費 (自転車点検カード) 10,920円 電気料 (交通公園、電光表示機) 243,475円 修繕料 (電光表示機メンテナンス) 798,000円 電信電話料 (電光表示機データ送信用) 143,185円 広告料 (セスナ機による啓発 年4回) 180,000円 手数料 (看板作成、賞状書等) 522,821円 備品購入費 (啓発用DVD) 188,790円 負担金 (交通安全協会安城支部、あんくるバス) 6,748,000円							
	人件費	1.07 人	8,057 千円	0.87 人	6,551 千円	0.90 人	6,777 千円	0.78 人	5,873 千円
	総事業費	23,860 千円		21,570 千円		20,724 千円		19,777 千円	
財源内訳	国県支出金	千円		千円		千円		千円	
		国県支出金の内容							
	地方債	千円		千円		千円		千円	
	その他特財	千円		千円		千円		千円	
		その他特財の内容							
	一般財源	23,860 千円		21,570 千円		20,724 千円		19,777 千円	
財源合計	23,860 千円		21,570 千円		20,724 千円		19,777 千円		
事業実績	活動実績	【活動指標名】		単位	H24年度	H23年度	H22年度		
		交通安全ポスター展出展		点	3,537	4,181	4,203		
		新入児童等への交通安全用品配布		人	5,204	5,316	5,235		
	単位当たりコスト	開催費用	／	出展数	円/点	0.34	0.27	0.27	
		用品購入費	／	園児・児童数	円/人	0.56	0.57	0.76	
／									
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	市民が交通安全への意識を持ち、交通事故防止について気をつけるようになれば、交通事故件数が減少するので、人身事故件数を指標としています。また、広報活動の成果としてシートベルト着用率を指標としています。							
	成果指標	【成果指標名】		単位	H24年度	H23年度	H22年度		
		人身事故件数		件	1,195	1,237	1,318		
		シートベルト着用率		%	98.7	98.7	97.8		
事業の自己評価 (今後の事業の方向性、課題等)	高齢化に伴い、高齢者の交通事故割合が増加しています。(24年の死亡事故4人中4人が高齢者) 老人クラブでは交通安全教室を実施していますが、老人クラブ未加入者やウェブサイトが閲覧できない市民に広報をする必要があるため、集客施設でのキャンペーンや訪問活動をする必要があります。								
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	交通安全の広報はすべての自治体で行っています。セスナ機による広報は、豊田市又は刈谷市と同業者により同じ日に行い、コストを削減しています。交通安全協会安城支部へ負担金は、同じ安城警察署管内の知立市と同単価で人口により負担しています。								
特記事項 (事業の沿革等)	平成13年7月 「交通安全条例」施行「交通安全推進都市」を宣言 平成21年4月 運転免許返納支援事業を開始 平成24年3月 交通安全条例を改正、「高齢者の事故防止」、「飲酒運転の根絶」、「自転車事故の防止」を追加								